I 時間版「ICT を活用したまなび」授業実践

教科	算数	学年		2年	
単元名 (教材名)	新しい計算のしかたを考えよう (日本文教出版 2年上)			時	第4時(全 22 時間)
本時の 目標	かけ算の場面を、具体物や式で表し、かけ算の意味の理解を深める。				

	学習活動	ICT 活用
-	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	101 /8/1
	○問題とめあてを確認する。	
	「かけ算のしきをおはじきであらわそう」	
2	○教科書の問題を前で解き、例を示す。 ・おはじきの並べ方、解き方について理解 させる。	2【大型提示装置】 おはじきの使い方について大型提示装 置を用いて拡大表示して説明する。
3	○教科書の練習問題に取り組む。・かけ算の式のとおりに、おはじきを並べて表現する。	3【学習者用端末】 ロイロノートを使って、かけ算の式をおは じきであらわす。並べたおはじきのカー ドをロイロノートで提出する。
4	○自分でかけ算の式を考えて、おはじきを 並べて表現する。 ・練習問題を参考にして、自分で問題を	4【学習者用端末】 並べたおはじきのカードをロイロノートで 提出する。
5	考え、おはじきで表現する。 〇まとめを考える。 「(例) I つ分×いくつ分でかけ算のしきをあらわすことができる。」	4【大型提示装置】 児童が作った問題を、大型提示装置を 用いて拡大提示して交流する。

備

- OICTを活用し、デジタルのおはじきを用いて授業を行った。デジタルのおはじきはタッチ操作 で自由に動かすことができ、具体物に近い形で扱うことができる。また、個数の制限がなく なり児童が自由にたくさんの問題を作ることができた。
- 〇ロイロノートを使うことで、多くの児童が同時に考え方を交流することができた。